



## お札のすかし模様は、どうやって入れるの

### くわしい造り方は公開されていない

わたしたちが、毎日使っているお金には、紙に印刷した紙へいと、銅やアルミなどの金属を使ったこう貨の2種類があります。

紙へいは、大蔵省印刷局で印刷されています。しかし、にせ札防止のために、くわしい印刷方法は、明らかにされていません。

紙へいの1000円札、5000円札、10000円札などには、すかしが入っていますが、このすかしも、にせ札を防ぐために入れてあるのです。ですから、お札のすかし模様をどうやって入れるのかという質問には、答えられません。

ここでは、紙へいは、特別いい紙を使い、たくさんの色を使って印刷し、必ずすかしを入れていくという程度しか説明できません。

### 大阪の造へい局で造られるこう貨

1円玉、5円玉、10円玉、50円玉、100円玉、500円玉などのこう貨は、大阪の造へい局で造られています。1円玉は、アルミニウムを使い、5円玉、10円玉、50円玉、100円玉、500円玉は、銅やニッケルなどの金属を混ぜて造ります。こう貨の造り方も、くわしいことは発表されていません。こう貨は、とかした金属をかためてから、型でぬいて造られるということしか説明できません。（監修・青木 国夫）

